

ウクライナ戦争。毎日情報更新。午前10時。2022年4月19日

ドンバスのための戦い:「今、私たちはロシア軍が長い間準備をしていたドンバスのための戦いを始めたと言うことができます」とゼレンスキー大統領は夕方の演説で述べました。この声明は、ウクライナ国家安全保障・国防会議書記による以前の報告に続き、攻撃がほぼ最前線に沿って始まったことを示しています。ハルキウ、ルハンスク、ドネツク州の方面で戦闘激化が観察されました。2週間にわたる軍隊の再編成後、ドンバスでの攻撃はこれまでで最も激しい戦いのひとつになると予想されます。ゼレンスキー大統領は、再編成後、ロシア軍は次のステップでより警戒し、より戦略的に行動することを通知しました。報告によると、ロシア軍は1日以内に、あらゆる種類の異なる兵器を同時に使用してさらに前進しました。戦場は都市から平地や野原へと変わるでしょう。今までにないほど、更に多くの重火器が必要になっています。

攻撃を受けている都市:欧州最大の製鉄所の1つである「アゾフスタル」を中心にマリウポリをめぐる激しい戦いが続いています。工場敷地内に重爆弾が投下されました。製鉄所の地下シェルターには少なくとも1000人の民間人がおり、主に子供のいる女性や高齢者です。マリウポリにいる大隊の司令官は、少なくとも民間人が同市を離れることができるように人道回廊の立ち上げを求めました。アンドリュシチェンコ氏・マリウポリ市長補佐官は、ロシア軍が、民間人が以前に戻ることを許可されていた住宅街を砲撃し続けていると報告しました。ルハンスク州では、ルビージュネ、リシチャンスカ、シェヴェロドネツクで激しい戦いが続いていると、同州知行政府長官は報告しています。月曜日、ルハンスク州クレミンナ市で激しい戦闘が続きました。ロシア軍の前進後、クレミンナ市は一時的にロシア軍に占領されています。4人の民間人が街を離れようとしたとき、ロシア軍に射殺されました。ルビージュネとポパースナは、同州における次の主要な標的ですが、ドネツク州では、戦闘はライマン、マリウポリ、クラマトルスク、トレツク周辺で続きました。ハルキウ州では、最も激しい戦いがイジューム方面で続いており、昨日、15人が負傷し、5人が死亡しました。ドニプロペトロウシク州クリボリツキイ地区の集落は、自走多連装ロケット砲BM-21グラードによって砲撃されました。ザポリージャ州フリヤイポレでは活発な戦いが続いています。集落は砲兵だけでなく、禁止されたリン弾によっても砲撃されています。イルピンでは、警察による検証ののち、ロシアの占領者が269人の民間人を殺害したと記録されました。街の郊外に何十もの新しい墓ができました。昨晚ミコライウでいくつかの爆発音が聞こえました。

これが最前線の状況の現在の地図です。

人権: 占領地の子供たちはロシアに強制移住させられ続けています。ウクライナのオンブズマンは、13人の孤児と親と離ればなれにされた子供たちがロシアに不法に移動させられたと報告しました。孤児院の6人の子供が、マリウポリからロシアのロストフ・ナ・ドヌに連れて行かれました。孤児院の子供たちの1人はザポリージャに行くことができ、他の子供たちがロシアに連れて行かれていると報告しました。また、ザポリージャ州では、合計で約155件の民間人の拉致が記録されています。敵対地域と一時的に占領された領土からの人道回廊は、絶え間ない砲撃のために2日間続けてブロックされ、本日も実施されない予定です。

外交政策: EU代表団、フランス、イタリア、ラトビア、リトアニア、エストニア、ポーランド、トルコ、チェコ共和国、スロベニア、バチカン、モルドバ、ジョージア、イラン、カザフスタン、タジキスタン、トルクメニスタンを含む16大使館はキーウでの活動を再開しました。

環境の安全保障: ロシアによるミサイルの残骸がテルノーピリ州の鉱物肥料を含む貯水池を損傷した後、イクヴァ川では基準値の163倍を超える化学物質(アンモニウム)が漏出しています。ミサイルの残骸は、テルノーピリ、リウネ、リヴィウ州の一部に渡る川への漏出を引き起こしました。4月6日、リウネ州ドゥブノ地域の川で魚が死んでいるのが発見された後、ウクライナ国家生態学的検査庁がサンプルを採取し、後に環境犯罪を確認しました。

メディア: ウクライナ最高会議・言論の自由委員会は、本格的な戦争の開始以来、21件のメディア従事者の死に関する事例を報告しました。以前、ロイター研究所は殺害されたメディア従事者のプロフィールの概要を準備しました。

デジタルセキュリティ: Googleマップは、ロシアの軍事施設の画像を公開しました。通常、このような画像はマップ上でぼやけているか、画質が悪くなります。しかし、今では軍事施設の詳細を観察することが可能です。

4月19日、毎年恒例のサイバー防衛演習「ロックド・シールズ2022」がエストニアのタリンで始まりました。北大西洋条約機構(NATO)サイバー防衛協力センターが主催し、同イベントには、テストチームが時間的な制約の下で回避しなければならない架空のサイバー攻撃演習が含まれます。今年は、ウクライナとエストニアの専門家が同

じチームに参加しています。エストニア国防省サイバー政策部門の国際政策顧問であるアネット・ヌマ氏は「志を同じくする国々は、自らを守るために協力しなければならない」と述べました。

リーディングリスト:

- POLITICO: [孤独なアナトリー](#): ロシア大使はワシントンで最も人気のない男「ロシアの目標は、隣国を制圧するよりもはるかに壮大です。それは、ある国による世界の支配を防ぐことです。」
- ワシントン・ポスト: [キリル総主教はプーチンの戦争を支持し、ロシア正教会に亀裂を引き起こしました。](#)

統計情報:

- 国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) 及び国連人道問題調整事務所 (OHCA) は、2月24日から4月18日までの間に2072人の民間人が殺害され、2818人が負傷したと報告しています。ただし、激しい戦闘地域に関するデータへのアクセスができないため、実際の犠牲者は更に増加する見込みです。
- 戦争による総被害額が6,000億ドルに達し、うち848億ドルはロシアがウクライナのインフラに直接的な損害を与えた総額です。
- 戦争が始まって以来、91の教育施設が破壊され、923が被害を受けました。
- [財務相](#)によると、民間インフラの被害はすでに2,700億ドルにのぼります。
- ウクライナ軍参謀本部は2022年4月19日午前10時現在のロシア軍の推定総損失を発表しました: 人員約20,800人、戦車802台、装甲戦闘車両 (APV) 2,063台、砲兵システム386台、多連装ロケットシステム (MLRS) 132台、対空戦システム 67台、固定翼航空機 169台、ヘリコプター 150台、軽装甲車1,495台、ボートおよび軽装ボート8台、燃料タンカー76台、運用戦術レベルUAV158台、特殊装備27台、移動式短距離弾道ミサイルシステム4台。ロシアの損失については[同ページ](#)を参照してください。

🇺🇦すべてのアクションが重要であり、あなたの貢献が小さすぎることはありません！🇺🇦

- ロシア戦争の影響を受けたウクライナの人々が自分たちのプライベートガーデンでより多くの食糧を育てるのを手伝ってください。 [SeedsForUkraine \(kse.ua\)](#)
- [Twitter](#)と[Webサイト](#)で毎日アップデートを読んでください。
- [PayPal](#)経由の寄付で私たちのプロジェクトをサポートすることができます。 [詳細](#)はこちらです。

🇺🇦ウクライナをご支援いただきありがとうございます🇺🇦 **Slava Ukraini!** 🇺🇦ウクライナに栄光あれ！🇺🇦